

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.	21110
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 経済学部	開講場所 (キャンパス・施設)	東千田キャンパス			
2. 科目名	経済学入門					
	学問分野	番 号	23 名 称 経済学			
3. 担当教員	山根 明子 社会科学部研究科					
4. 開講学期	後期 週1コマ					
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 31 年 10 月 7 日 (月) ~ 平成 32 年 2 月 3 日 (月)					
	18 時 00 分 ~ 19 時 30 分 月曜日の授業だが、授業日確保のため 10/16 (水) と 11/7 (木) も同時刻で実施					
個別開講日	1 回目 10/7	2 回目 10/16	3 回目 10/21	4 回目 10/28	5 回目 11/7	6 回目 11/11
	7 回目 11/18	8 回目 11/25	9 回目 12/2	10 回目 12/9	11 回目 12/16	12 回目 12/23
	13 回目 1/6	14 回目 1/20	15 回目 1/27	16 回目 2/3		
6. 募集定員	10 人					
7. 科目内容・ 授業計画	<p>経済学は、限られた資源を社会がいかに利用するかを考える学問です。この講義では、ミクロ経済学とマクロ経済学の導入部分を学習します。ミクロ経済学は、家計や企業がどのような意思決定を行うのかという問題や、価格がどのように決定されるのかという問題を扱います。マクロ経済学は、国単位での資源配分を考えます。具体的には、以下のような内容を扱います。([ ]は講義回)</p> <p>まず、需要量と供給量が等しい水準に達した状況である「市場均衡」でどのように価格が決定されるのか [2, 3]、それが政策によってどのような影響を受けるのか [4, 5]、効率性の概念 [6]、外部性 [7] を学び、ミクロ経済学の基礎的な内容を概観します。次に、GDP とは何を表しているのか [8]、物価はどのように測られるのか [9]、金融市場の仕組みや金融政策について [10, 11] など、マクロ経済学の導入部分を学びます。さらに、マクロ経済学の基本的なモデルを使った分析を行い、財政政策や金融政策の役割について考察します [12, 13, 14]。</p>					
8. 受講料	2,000 円					
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
10. 学習記録	交付する					<input type="checkbox"/> 交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる					<input type="checkbox"/> 受け入れない
	単位数	単位				
	受入学年	高校	年生以上 (二次募集時		年生)	
	試験・評価					
	特記事項					
12. 開講条件※1 あり・ <input type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数 (        人) ② 不開講通知日 (7月13日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月14日(土)以降の開講科目は6月末まで)					
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと なし					
14. 開設大学への 交通手段	<a href="http://www.enica.jp/">http://www.enica.jp/</a> →広島大学→交通アクセス→東千田キャンパス 広島大学経済学部 <a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/sendai">https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/sendai</a>					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。